



One Gateway Center, Suite 702, Newton, MA 02458 USA

2010年4月30日

報道関係者各位

参天製薬株式会社  
Clinical Data Inc.

## アデノシン A<sub>2A</sub> アゴニスト導入に関するライセンス契約締結について

参天製薬株式会社(本社:大阪市、以後「参天製薬」と)と、Clinical Data Inc.(本社:米国マサチューセッツ州、NASDAQ証券コード: CLDA、以後「Clinical Data社」と)は、4月28日付けで、Clinical Data社の保有するアデノシン A<sub>2A</sub> 受容体アゴニスト化合物である ATL313に関するライセンス契約に調印し、参天製薬が、緑内障等の眼科疾患治療薬として開発するための権利を獲得したと発表しました。ATL313は非臨床試験段階にある有望な化合物で、*in vivo*試験で有意な薬理効果を示しており、臨床開発の候補化合物として推薦されています。

本ライセンス契約のもと、参天製薬は、契約締結に伴い、契約一時金2百万米ドルを Clinical Data 社に支払い、今後、開発・販売の進捗に応じたマイルストーン及び販売金額に応じたロイヤリティの支払いを行うこととなります。参天製薬は、本ライセンス契約に基づき、全世界における ATL313 を緑内障等の眼科疾患治療薬として開発する権利を獲得し、また追加の化合物を獲得する事についての選択権を得ることとなります。Clinical Data 社は眼局所投与による眼科領域以外の疾患領域での ATL313 に関する開発及び、それに伴い発生するデータに関する知的所有権を保持します。Clinical Data 社は上記の権利の一部を B 細胞癌治療薬として CombinatoRx 社に導出しており、前期第 II 相臨床試験結果の評価の後、共同開発に移行する権利を保持しています。

Clinical Data 社の代表取締役社長である Drew Fromkin は、「参天製薬は、眼科疾患に特化した製薬会社としては世界のリーディングカンパニーのひとつであり、同社との今回の契約締結は、Clinical Data の保有するアデノシン A<sub>2A</sub> アゴニスト化合物の、特定の眼科疾患治療への適用を裏付けるデータ蓄積の結果によるものであり、さらに Clinical Data は、アデノシン化合物を、炎症性及び疼痛障害を含め、他の適応症についても開発を進める機会を追求していきます。」と述べています。

参天製薬は、2007年5月に、Clinical Data 社との間で、同社の保有するアデノシン A<sub>2A</sub> アゴニスト化合物ライブラリを評価するオプション契約を締結し、リード化合物を見出し、活性を確認するための努力を重ねてきました。非臨床試験での良好な結果を受け、参天製薬は ATL313 を眼科治療薬の開発化合物として選択しました。また参天製薬は、本契約により、本契約締結後1年以内に、追加の化合物を獲得するためのオプションを取得しました。

参天製薬代表取締役社長兼CEOの黒川明は、「Clinical Data 社のアデノシン化合物に関して今まで得られた研究結果に高い期待を抱いております。今後実施する試験で、さらに良好な結果が得られれば、1年内をめどに ATL313 の治験を開始することが出来るのではないかと、期待しています。」と述べています。

### **Clinical Data 社のアデノシン化合物について**

アデノシン受容体をターゲットとした薬剤の有望性には定評がありますが、レセプター選択性の欠如や望ましくない副作用により、治療薬としてのポテンシャルは制限されてきました。Clinical Data社のアデノシン化合物は、受容体の選択性と薬物動態を最適化するように開発された結果、忍容性及び、治療薬としての全般的ポテンシャルが高まりました。同社のアデノシン受容体をターゲットとした製品候補の中で、最も開発が進んでいるStedivazeは、選択性の高いA<sub>2A</sub> アゴニストであり、現在は心筋血流イメージング(MPI)の薬物負荷剤として第III相臨床試験中です。またA<sub>2B</sub> 受容体アンタゴニストについては、糖尿病II型及び喘息治療用の経口剤として非臨床試験を実施中で、これらのプログラムについてはノバルティス社がオプションを保持しています。さらに同社は、眼科及びB細胞癌分野にて参天製薬及びCombinatoRx社と既にライセンス契約しているアデノシンアゴニストの開発に加え、他のアデノシン化合物についても疼痛、炎症などの様々な適応症について評価中です。

### **Clinical Data, Inc. について**

Clinical Data社はファースト・イン・クラスかつベスト・イン・カテゴリーの治療薬を開発しています。Clinical Data社は開発後期段階にある、中枢神経疾患及び循環器疾患領域での新薬候補の開発を促進しており、他のメジャーな治療分野でも新薬候補を引き続き開発しています。また、新薬開発並びにバイオマーカーに関する専門性を兼ね備え、患者の健康促進と医療費削減を目指して努力しています。詳細については [www.clda.com](http://www.clda.com) をご参照ください。

### **参天製薬株式会社について**

参天製薬は、眼科とリウマチ／骨・関節領域に特化した独自性ある医薬品企業として、人々の目とからだの健康維持・増進に貢献しています。当社の売上高の約 80%を占める医療用眼科薬では、あらゆる眼科疾患に対する優れた医薬品の創製と医療現場のニーズに則した情報提供に取り組み、国内 No.1 の地位を獲得しています。すでに日本を含むアジアそして欧米の3極で臨床開発・販売体制を構築し、卓越した研究開発力に根ざした独自性ある製品を世界に供給する「世界で存在意義のある企業」となることを目指しています。詳細については [www.santen.co.jp](http://www.santen.co.jp) をご参照下さい。

### **お問い合わせ先:**

#### **参天製薬:**

〒533-8651 大阪府東淀川区下新庄3-9-19  
参天製薬株式会社  
コーポレート・コミュニケーショングループ  
日比貴史  
TEL : 06-6321-9957

#### **Clinical Data:**

Theresa McNeely  
Vice President, Corporate Communications  
Clinical Data, Inc.  
One Gateway Center, Suite 702  
Newton, MA 02458 U.S.A.  
TEL : 617-527-9933 x3373

### **Clinical Data 社の米国私的証券訴訟改革法(1995年)に基づく免責事項**

#### **CLINICAL DATA's SAFE HARBOR STATEMENT UNDER THE PRIVATE SECURITIES LITIGATION REFORM ACT OF 1995**

本プレスリリースに含まれる将来に関する情報及び記述は、1995年の私的証券訴訟改革法(The Private Securities Litigation Reform Act of 1995)による、将来に関する記述(Forward-looking statements)の免責事項の対象となります。将来に関する記述は歴史的な事実ではありません。本プレスリリースに含まれる記述には以下のことが含まれますが、その限りではありません。「参天がATL313をいずれかの眼科疾患治療薬として開発する可能性に関する記述。」「Clinical Dataが新製品の承認を取得し、販売に成功する能力;将来の業績に関する記述。」上記の情報や記述は、予測が難しく、一般的にClinical Dataにとって不可抗力である特定のリスクや不確実性を伴っており、それによって、将来に関する情報や記述で記載あるいは示唆、予測された内容と実際に出る具体的な結果が異なる可能性があります。不確実性とは以下のものを含みますがその限りではありません。「本ライセンス契約により参天が開発した治療薬が臨床試験を開始し、その後臨床開発が続くかどうか。」「同治療薬が米国FDA又は他国の(米国でのFDAに該当する)薬事当局から承認を受けるかどうか。」「どの適応症で承認されるか。」「ライセンス契約により参天が開発する治療薬が承認されたとして、販売に成功するかどうか。」「弊社の知的所有権の効力及び執行可能性。」「製薬会社、バイテク会社及び診断薬会社による競争。」「Clinical Dataが新たな製品を開発・取得したり、新たなビジネスパートナー・戦略パートナーを得られるかどうか。」「アメリカ合衆国証券取引委員会(U.S. Securities and Exchange Commission、SEC)に申請するにあたり、Clinical Data社が特定し協議済みのリスク。」など。将来に関する記述は、あくまで現時点でのものであるため、読者は過度な信頼を置かぬようご注意ください。Clinical Dataは本プレスリリースの日付以降に起きた出来事及び状況、あるいは予測不能な出来事に関して記述を更新する義務を負いません。読者の方には、Clinical DataがSECで定期的に公表する内容や中間報告書、2009年12月31日に終了した四半期に関するForm 10-Q アニュアルレポート、Clinical Dataが時期に応じて申請するForm 8-KによるCurrent Report(これらを含むがその限りではない)を注意深く参照し考慮されますようお勧めします。

### **参天製薬の将来見通しに関する注意事項**

このプレスリリースにおいて提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(Forward Looking Statements)が含まれています。これらの見通しが実現できるかどうかはさまざまなリスクや不確実性に左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知置ください。また、日本ならびにその他各国政府による医療制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。